

## Nutanixバーチャルコンピューティングプラットフォームを活用し、病院向けリアルタイム リモートビデオ通訳サービスを提供

### Language Access Network (LAN) 社 概要

米国オハイオ州に本社を構えるLanguage Access Network (LAN) 社は、リアルタイム・オンデマンド・ビデオリモート通訳 (VRI - Video Remote Interpreting) サービスを、全米200以上の病院や医療機関の視覚障害者や英会話力が不足している患者向けに提供しています。同サービスは、210以上の言語で24時間365日いつでも、ボタン1つで利用することができます。

オハイオ州コロンバスにあるLAN社の基幹データセンターでは、効率的なセンター管理とハードウェアの有効利用を目的として、最近、システム仮想化への取り組みを開始しました。同社は、2014年までにサポート対象となる病院数を600にまで拡大する計画を持っており、この規模拡大に追従するため、IT部門ではインフラストラクチャーを拡張する必要性に迫られていました。

### ビジネスニーズ

LANでは、サービスの対象となる病院数を拡大すると同時に、どのようにITコストを維持しながら、既存のビデオプラットフォームであるCisco Unified Communications (UC) を拡張すべきかという課題に直面していました。ネットワークサービス担当のVPであるJosh O'Brien氏は、仮想化こそがシステム拡張のための重要な鍵となると考え、Cisco UCSにおける経験をもとに、Cisco UCビデオ会議プラットフォームのサポートに向けCisco VCE Vblockアーキテクチャーの検討を開始しました。しかし、このアプローチを選択した場合には、最低でも10万ドルのコストがかかることが判明しました。この金額は、当初割当てた予算を大幅に上回り、他の業務に支障を与える可能性があるため、直ちに代案の検討が必要になりました。

Cisco UC依存の形から脱却を図るため、O'Brien氏とチームは、CIC Interactive Intelligence、MicrosoftおよびPolycom各社から製品を調達し、特定のハードウェアベンダーに依存しないビデオプラットフォームを内製するという意欲的な計画を立案しました。プライベートクラウド基盤上で仮想化されたMARTTI (My Accessible Real- Time Trusted Interpreter: 信頼おける手頃なリアルタイム通訳の意)と呼ばれるプラットフォームがシステムのコアとなります。関連データは、優れた耐熱性能を持つ階層構成技術により、Fusion-io ioDriveとSATAドライブの間で自動的に階層化されます。

### 仮想化実現までの経緯

当初LANでは、SharePointやSQL Serverなど、複数のバックオフィスシステムのワークロードを集約するために、以前から使用してきたIBMとHPのハードウェアを前提にして仮想化に取り組んでいました。しかし、MARTTIビデオプラットフォームに対応できる十分なパフォーマンスを得るためには、次世代型のプラットフォームが不可欠なことが明らかになりました。O'Brien氏は、現在200ヶ所あまりの病院や医療施設などのサービス先を、今後数年間で600ヶ所にまで拡張するためには、必要に応じてビルディングブロック方式で拡張できるモジュラー方式のソリューションが必須であると考えました。

“Nutanixは、当社のデータセンターに期待通りのビルディングブロックを提供してくれました。これにより、ネットワーク上のボトルネックや、ストレージコントローラーが性能限界に達してパフォーマンスが劣化するといった心配もなく、ビジネスの核となるビデオプラットフォームの性能を存分に発揮することができるようになりました。わずか2Uサイズのシステムで、これだけのIO性能や処理能力を提供できる製品は他にはありません”

— Language Access Network  
ネットワークサービス担当 VP  
Josh O'Brien 氏

### Language Access Network™

#### 業種

ヘルスケア産業

#### ビジネスニーズ

- 600の病院をサポートするリアルタイム・ビデオプラットフォームをサポートできる仮想プライベートクラウド向けインフラストラクチャー

#### ソリューション

- Nutanixバーチャルコンピューティングプラットフォーム

#### 導入効果

- 容易な導入: LANのITチームが2Uサイズの筐体をラックに挿入すると、直ちにNutanixの統合仮想化アプライアンスは稼働を開始しました。サーバー、SAN、ネットワーク、ハイパーバイザーが統合されているため、サーバーとSANの組み合わせによる従来の方式に比べ格段にシンプルな導入が可能です。さらにNutanixでは、LANがサポートする病院数の増加に対応して仮想化環境を拡張していく場合でも、正確なパフォーマンス予測を行うことができます
- モジュラー方式による拡張性: Nutanixは、必要となるときに必要な分だけノードを追加することで、サーバーとストレージを拡張することが可能です。このためLANでは、直近で必要としない過剰なシステム処理性能に当初から多額のコストを投下せずに済みました
- コスト削減: LANでは、UCSやNetAppと比較した場合、Nutanixソリューションのサーバーとストレージを合わせたコストが、NetAppのストレージ単体よりも低く、さらにパフォーマンスでもIOPSに優れていることを確認しました



**NUTANIX**  
www.nutanix.com

O'Brien氏は、Nutanixを採用した理由について以下のように述べています。「Nutanixは、わずか1台の2Uブロックだけで、大型のVblockよりもはるかに素晴らしい性能を発揮することができます。Vblockは10万ドルの予算を超えてしまうものですが、今回のNutanixの構成は、Arizona 7124X 10GbEスイッチとVMware vSphereライセンスが含んだ上で、予算金額を下回るものでした。さらに、必要に応じてクラスターにノードを追加するだけで拡張可能で、パフォーマンスの正確な予測も容易でした」

LANでは、Nutanixバーチャルコンピューティングプラットフォームによって拡張性の高いビデオおよびコミュニケーションのためのプラットフォームを実装することができました。Nutanixは、ノードやブロックを追加していくことで、あらゆる規模に拡張が可能であり、Vblockのように一度の大きな拡張に適しているソリューションとは一線を画しています。1台のNutanixは、Dual Intel Xeon x5650 プロセッサを搭載したサーバーと、5TBの組み込み型ストレージを組み合わせたシステムとして機能し、より細かな単位で拡張していくことができます。これにより、ビジネスニーズに見合ったコストを維持し、また統合されたシステムとして容易な維持管理することが可能です。

## Nutanixとのパートナーシップ

新しいテクノロジーを導入する際には、新たな問題が発生した場合の対処が懸念されます。O'Brien氏が抱えていたこのような懸念は、Nutanixサポートエンジニアリングチームの最初の対応によって、すぐに払拭されました。最初のインストール時に経験した、ワークロードの些細な問題の対応についてO'Brien氏は次のように話します。「Nutanixのサポートエンジニアリングによる対応は、過去のどのベンダーよりも素早いものでした。しかも、この業界では考えられない程スムーズで責任ある態度でした。Nutanixは単なるベンダーではなく、真のパートナーだと実感しました」

## 将来的にはNutanixでプライベートクラウドを構築

全国数百ヶ所の病院で1,400近くのエンドポイントを展開し、そのうち数百が常にオンライン状態にあるというLANでは、今後数年間のビジネスニーズを確実に吸収できるアーキテクチャーを求めていました。短期的なコスト削減も重要な要素ですが、IT戦略の中心となるのは、オンデマンドでMARTTIプラットフォームにリソースを提供することが可能なプライベートクラウド向けの基盤を構築することでした。

O'Brien氏は次のように話します。「Nutanixによって、新しいコール（データ）センターを非常に簡単に構築することができます。アプライアンスを差し込んで数ヶ所を調整するだけですべての準備は完了し、即座にシステムを稼動することができます。これこそが仮想化基盤の導入のあり方だと思います。GoogleやYahoo、Amazonなど、巨大なデータセンターを保有するすべての大手企業は、パフォーマンスと拡張性を維持するために、サーバーとストレージを垂直統合した本アプローチを既に採用しています。Nutanixは、これまでGoogleのような膨大なリソースを保有する企業だけが持ちえたテクノロジーを、それ以外の企業が活用できるチャンスを提供しているのです」

今後LANは、全米のタイムゾーンをカバーできるようにコールセンターを展開する計画です。このため、既存のHPやIBMのサーバーから、Nutanixバーチャルコンピューティングプラットフォームにワークロードを移行し、残ったHPやIBMのハードウェアをディザスタリカバリーに用いる予定です。Nutanixのアプライアンスによって、IT部門によるプライベートクラウドの拡張がより容易なものとなります。LANでは、本ソリューションを米国6,000の病院に導入するという長期的な目標の達成も、既にその視野に入れています。

### Nutanix について

Nutanix Inc. は、ハイパー環境で大きな効果を発揮する、非常に拡張性が高く極めてシンプルなデータセンター向けインフラストラクチャー・ソリューションを提供しています。Nutanixのバーチャルコンピューティングプラットフォームは、単一のアプライアンスでサーバーとストレージの統合をシームレスに実現する機能を内蔵し、業界で高い評価を得ています。米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、世界各地にオフィスと認定ソリューションプロバイダーを有しています。ニュータニクスは、プライベートカンパニーであり、傑出したベンチャーキャピタルから投資を受けています。詳細については、[www.nutanix.com](http://www.nutanix.com) をご覧ください。

“ Nutanixによって、新しいコール（データ）センターを非常に簡単に構築することができます。アプライアンスを差し込んで数ヶ所を調整するだけですべての準備は完了し、即座にシステムを稼動することができます...”

- Language Access Network  
ネットワークサービス担当 VP  
Josh O'Brien 氏

### お問い合わせ

- ・さらに詳しい情報については [www.nutanix.com](http://www.nutanix.com) をご覧ください。
- ・ツイッターは [@nutanix](https://twitter.com/nutanix) でフォローいただけます。
- ・お問い合わせは、[learnmore@nutanix.com](mailto:learnmore@nutanix.com) 宛にEメールをお送りください。

**NUTANIX**  
[www.nutanix.com](http://www.nutanix.com)